

## 地震発生帯掘削における孔内計測・長期モニタリング - 台湾チェルンブ断層掘削計画の成果と今後の展望 -

### The role of borehole measurements and longterm monitoring in the seismogenic zone drilling

# 伊藤 久男 [1]

# Hisao Ito[1]

[1] JAMSTEC

[1] JAMSTEC

地震発生帯掘削においては断層岩の採取のみならず孔井を利用した計測、長期孔内計測が重要である。野島断層掘削等の経験を活かし、台湾チェルンブ断層掘削計画ではFMI, DSIを含む孔内検層とリークオフテストによる地殻応力測定、コアによる物性測定が行われた。孔内検層による破碎帯の性質と、コアで認められた破碎帯との比較が行われた。B孔ではリークオフテストが行われ、断層の上下4深度でデータが得られた。リークオフテストから推定された最小水平圧縮応力値は、かなり上載岩圧より下回った値を示している。

台湾チェルンブ断層掘削計画の結果を受け、今後計画される地震発生帯掘削における孔内計測・長期モニタリングの具体案について議論する。